

第305回: 苦い IPA ビール

中国の指導者は忙しい。特に習近平国家主席のように、何でも彼んでも自分がリーダーシップを発揮しないと気がすまないタイプの政治家にとっては。懸案の英国訪問(4泊5日)が無事終わり、24日に帰国するや、休む間もなく週明け26日から共産党中央委員会年次総会(五中総会)が始まり、これが29日まで続く。失脚した令計画や周本順たち党政府高官を中央委員会から追放する人事は単なる儀式だから注目する必要はないが、現在空席となっている天津市書記の人事が、例の謎の大爆発も絡んで面白そうだ。

習近平にとってなにがなんでも昇格させたい人物は栗戦書、王滬寧、劉源の3人だ。9月の訪米、今回の訪英を含め、習近平の外遊には常に随行する要人が3人いる。栗戦書政治局委員(党中央弁公庁主任)、王滬寧政治局委員(党中央政策研究室主任)、そして楊潔篪外交担当國務委員のトリオ。最近日本の悪口ばかり云い触らす楊潔篪は英語通訳上がりの職業外交官で、国家元首に随行して様々な会議や会談に参加するのは当然だが、首脳会談が民族や宗教が絡む地政学や、産業構造の転換など戦略上の問題に及ぶと、国際政治学者の王滬寧が登場する。習近平の知恵袋だ。もう一人の栗戦書は習近平と一心同体の存在で、かつて胡錦濤の行くところ常に令計画が控えていたのと同パターンだ。栗戦書の役割は習近平の身辺警護にある。もし習近平が王滬寧と栗戦書を引き続き手元に置き、できれば2年後の第19回党大会でチャイナセブンに昇格させたいのであれば、五中総会でこの2人を更に高いポストに異動させ、彼らの2年後の昇格を既成事実化するのが得策だ。もし今回、栗戦書が上海市、王滬寧が北京市の書記に栄転するようなことになれば、彼らの2年後は明らだろう。

もうひとり気になるのが、習近平の親友で劉少奇(元国家主席)の息子の劉源上将(総後勤部政治委員)の処遇。彼の軍事委員会入りを確定させるために、習近平は人民解放軍の要である四本部と、7大軍区を編成替えて新ポストを作り出す可能性があり、場合によっては范長竜、呉勝利といった70歳前後の老将を引退させ、劉源の入り込む隙間を「捻出する」可能性がある。劉源は軍事大卒でなく、兵科も「武装警察」という傍流を歩いてきたため、彼を制服組のトップに据えようとすれば陸軍が強く抵抗する可能性がある。場合によっては、名より実を取り、劉源を総政治部副主任に横滑りさせ、軍の汚職摘発責任者である「軍事委員会・規律検査委員会・主任」に据えるという手もある。

それはそれとして、習近平の英国訪問に対し中国各紙は「中英黄金時代が始まる」として、習近平外交の成果を手放しで称賛する記事を掲載している。これに対し、あまり大きな声では云えないが、多額の投資をコミットして英国を狂喜乱舞させた割には中国への見返りが少なく、「ばらまき外交に過ぎないのでは」というネット上の批判も散見される。9月に行われた習近平の訪米は、ボーイング300機の爆買い外交にも拘わらず、サイバーテロや中南沙諸島問題等の対立で中国の歴史的な大敗に終わり、今回の訪英は何が何でも失地回復を図る必要があった。中国によると英国は昔から中国と相性が良く、新中国を最初に承認した西側の国である。最近では中国が主導するアジアインフラ投資銀行(AIIB)に西側諸国として、いち早く参加を表明、金融面ではロンドンのシティが人民元オフショア取引の中核市場となりつつある。そんなわけもあり、両国の思惑は一致し、イギリスは習近平夫妻を最高級のもてなしで迎えた。キャメロン英首相は習近平との

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

会談後、英国が進める原発事業への中国による投資など、総額400億ポンド(1£=185円)の契約を締結したと述べた。うち最大の事業は原発投資で、中国企業は英国の3プロジェクトに約180億ポンドの投資を行う。英中両国は中国以外で世界初となる人民元建て国債の発行を始めることでも合意した。

中国の喜ぶまいことか、習近平によると「両国はグローバル包括的戦略パートナーシップを構築し、黄金時代を開く」そうだ。今回中国は対米外交の失敗を取り戻すために必死に踏ん張ったようで、中英の歴史的友好関係を演出するために、アヘン戦争や、八か国連合軍による円明園の焼き討ち事件などおくびにも出さず、「ノルマンジー上陸作戦に参加した24人の『中国海軍學員』」や、「抗日戦争時代、共産党ゲリラ基地で無線通信の指導をした英国人マイケル・リンゼイ氏」といった骨董級の挿話まで持ち出してきた。まことに涙ぐましい演出で、ノルマンジー作戦に中国人が参加したとは驚いた。Gold Beach や Sword Beach に上陸したのは英国陸軍歩兵師団であり、中国人「海軍學員」なる者は、駆逐艦のコックか掃除人夫だったのでは？もちろん中国共産党とは何の関係もない。因みに中共の歴史には、革命を支援した「海外友好人士」として英国人マイケル・リンゼイのほか、ジョージ・ハテム、ノーマン・ベチューン、岡野進(本名・野坂参三)等々、胡散臭い連中が多数登場するが、大半は共産主義に染まりコミンテルンから派遣された共産党員であった。リンゼイ氏が党員だったか否は不詳だが、少なくともジョージ6世が派遣した人物ではない。

習近平は中英両国の友好関係を誇示したかったらしく、最後に中英首脳が仲良くビールを傾ける場面を披露した。主として国内向けのアピールだろう。場所はバックスのパブ The Plough at Cadsden。飲んだのは1パイントのインディア・パールエールと£5.5のフィッシュ&チップス、勘定10ポンドはキャメロン首相が払ったそうだが、400億ポンド爆買いのお礼としては安いものだ。中国に露骨にすり寄るキャメロン首相に冷たい視線を投げかける英国人は多いが、イギリスの経済状況から背に腹は代えられない彼に同情すべき点はある。まさか Her Majesty にパブへの出御をお願いするわけにはいかないし。やむなくキャメロン首相が大英帝国の繁栄のために苦いビールを飲み干したのだろう。サンデー・タイムスは、「The Chinese are desperate to order fish and chips. They've asked about it repeatedly・・・中国人たちはどうしてもフィッシュ&チップスが食いたかったらしく(英国外務省に)何度も要請してきた。習近平にとって残念だったのは、(塩とビネガーで食べる庶民的な味付けではなくて)タルタルソース添えだったことだ」と皮肉たっぷり報道している。因みに上記パブのウェブサイト(<http://theplough.pub/>)は早速 Plough Famous Visitors として両首脳の一盞を紹介している。英国人って案外商売上手のようだ。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成27年10月27日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040